

**製品名: BCL6 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82830**

研究使用のみ

**概要**

|        |   |
|--------|---|
| 説明     | マウスモノクローナル抗体                                      |
| 宿主     | ねずみ   |
| 応用     | WB,IHC,ICC,ELISA,FC                               |
| 反応性    | 人間  |
| 標識     | 非共役   |
| 修飾     | 未修正   |
| アイソタイプ | Mouse IgG1  |
| クローン性  | モノクローナル   |
| 形態     | 液体  |
| 濃度     | 1mg/ml  |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送     | 氷袋  |
| バッファー  | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体                       |
| 精製     | アフィニティー精製   |

**応用**

|      |   |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量  | 78.8KDa   |

**抗原情報**

|              |   |
|--------------|---|
| 遺伝子名         | BCL6  |
| 別名           | BCL5; LAZ3; BCL6A; ZNF51; ZBTB27            |
| 遺伝子 ID       | 604.0                                       |
| SwissProt ID | P41182                                      |
| 免疫原          | 大腸菌で発現したヒト BCL6 (AA: 507-706) の精製された組み換え断片。 |

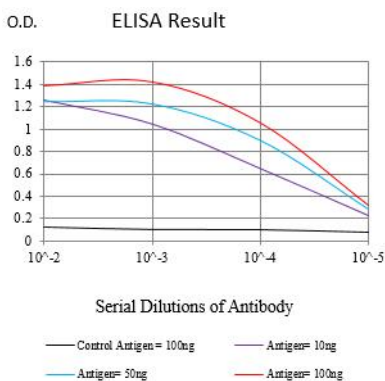
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質はジンクフィンガー転写因子であり、N末端に POZ ドメインを有する。このタンパク質は配列特異的な転写抑制因子として作用し、B細胞の STAT 依存性 IL-4 応答の転写を調節することが示されている。このタンパク質

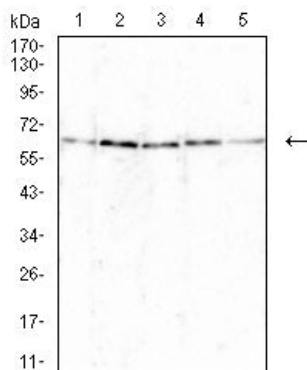
は、転写コリプレッサーとして機能する様々な POZ 含有タンパク質と相互作用することができる。この遺伝子は、びまん性大細胞リンパ腫 (DLCL) において高頻度に転座および高変異を起こしていることが分かっており、DLCL の病態に関与している可能性がある。この遺伝子には、異なるタンパク質アイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見出されている。

## 研究分野

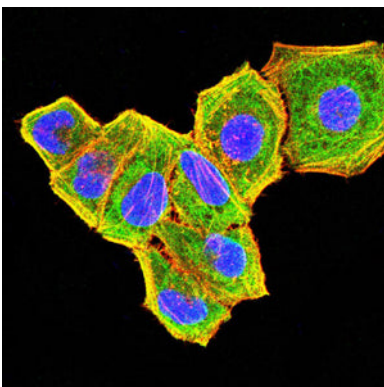
## 画像データ



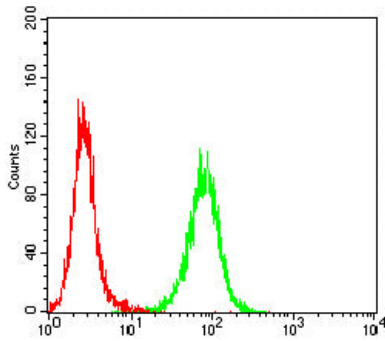
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



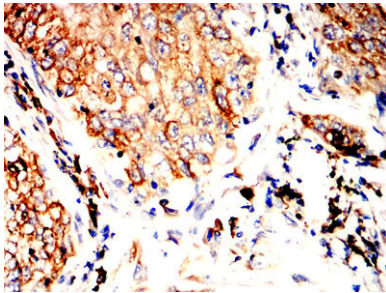
Jurkat (1)、K562 (2)、Raji (3)、Ramos (4)、および MOLT-4 (5)細胞溶解物に対する BCL6 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



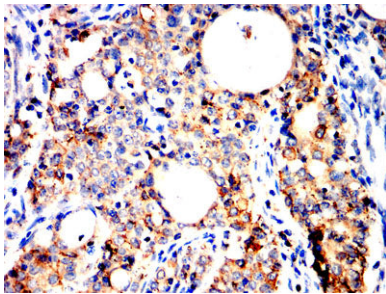
BCL6 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



BCL6 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による BCL6 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による BCL6 マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。